

平成21年度総合セキュリティ対策会議について

1 総合セキュリティ対策会議の概要

情報通信ネットワークの安全性・信頼性を確保するため、情報セキュリティに関する産業界等と政府機関との連携の在り方、特に警察との連携の在り方について有識者等による検討を行うため平成13年度に設置された生活安全局長主催の懇談会。毎年度、個別のテーマを設定。

2 平成21年度総合セキュリティ対策会議について

(1) 検討課題

インターネット・オークションにおける盗品の流通防止対策について

(2) 検討内容

近年、盗品の処分先としてインターネット・オークションの利用が増加しており、特にカーナビについてはその傾向が著しい。インターネット・オークションは、利用者間での売買の場を提供するだけのものであり、オークション事業者は実際の出品物を確認することができない。また、落札者は必要とするものをより安く落札することを求めており、盗品であるかどうかには関心が薄いため、警察への通報を期待できない。

こうした中、インターネット・オークションが盗品の簡便な処分先として定着することを防ぐため、これまでに講じてきた措置及び新たな対応策について検討する。

(参考) インターネット・オークションを利用した盗品の処分状況

	H16	H17	H18	H19	H20
盗品	904	1,361	2,233	2,181	3,000
うちカーナビ	34	87	449	661	1,239
割合(%)	3.8%	6.4%	20.1%	30.3%	41.3%

(3) 基本論点

ア 問題点の検討

インターネット・オークションにおける盗品流通の実態と問題点について検討する。

イ インターネット・オークションにおける盗品の流通防止策

盗品流通防止のためにとり得る対応策やそれに伴い生じる技術的・法的な課題、警察と事業者等との連携の在り方について検討する。

(4) 開催スケジュール(予定)

9月11日 第一回会合

年度内に計4回程度開催し、平成22年3月を目途に報告書を取りまとめる。